

もり 森林とのふれあい！

地球の緑を育てる会 森活プロジェクト



記念碑で説明する岡井署長

歩道整備作業に
あたり、岡井署長
より記念碑の由
来、森林の効果効
用、森林整備の意
義などについて説
明ののち、作業を
開始しました。

イベントの開催にあたり、NPO法人地球の緑を育てる会理事長及び副理事長から「森活プロジェクト」の目的の説明後、歩道整備作業箇所に移動しました。

●「全国緑化行事発祥の地」
今回のイベントのちょうど一週間前、6月2日（日）に愛知県で第70回全国植樹祭が行われました。全国植樹祭は昭和25年に山梨県で開催されたのが最初です。そのルーツとなる「愛林運動」は昭和9年に初めて植樹行事が、今回のイベント会場である桜川市の筑波山麓の国有林で行われました。昭和61年には記念碑が建立されました（注1）。

6月9日（日）に行われたNPO法人地球の緑を育てる会「森活プロジェクト」に、地球の緑を育てる会から25名、当署からは5名が参加しました。

●歩道整備作業

鍬や掛矢など工具を各々手に取り、歩道の傷んだ丸太木を入れ替えたり、不安定な丸太を固定したり歩道の不陸を修正したりと、参加者は全員で力を合わせて作業を行いました。

平成26年度に第一回のイベントが開催されてから、今年で8回目となるためか、慣れた作業で、整備作業は進められ、あっという間に歩道が歩きやすく整備されました。



歩道整備作業の後は歩きやすくなりました



みんなで力を合わせて

梅雨入り直後であったイベント当日は、天候が危ぶまれましたが、無事開催されほっとしました。参加者の皆さんは生き生きと作業に行っていました。一方、私は参加者の皆さんについて行くのがやっとで日頃の運動不足を痛感させられました。（やまもと）



編集・発行：茨城森林管理署 森林ふれあい担当

電話 050-3160-6005 (IP)

注1 詳細については局ホームページ『森林署長等が語る！第29回』をご覧ください。